

2021年7月 作成（第1版）

貯 法：遮光し、湿気を避けて保存  
使用期限：3年6ヶ月（表示の使用期限を参照すること。）  
注 意：取扱い上の注意参照

日本標準商品分類番号

87314

承認番号	20200AMZ00243
薬価収載	1990年2月
販売開始	1990年5月
再評価結果	1977年5月

ビタミンC剤

# アスコルビン酸「ニッコー」

ASCORBIC ACID 「NIKKO」

## 日本薬局方 アスコルビン酸

### 【組成・性状】

- 組成  
本品1g中 日局アスコルビン酸 1g 含有。
- 性状  
本品は白色の結晶又は結晶性の粉末で、においはなく、酸味がある。  
水に溶けやすく、エタノール(95)にやや溶けにくく、ジエチルエーテルにほとんど溶けない。

### 【効能・効果】

- ビタミンC欠乏症の予防及び治療（壊血病、メルレル・バロー病）
- ビタミンCの需要が増大し、食事からの摂取が不十分な際の補給（消耗性疾患、妊産婦、授乳婦、はげしい肉體労働時など）
- 下記疾患のうち、ビタミンCの欠乏又は代謝障害が関与すると推定される場合（但し、効果が無いのに月余にわたって漫然と使用しないこと）
  - 毛細管出血（鼻出血、歯肉出血、血尿など）
  - 薬物中毒
  - 副腎皮質機能障害
  - 骨折時の骨基質形成・骨癒合促進
  - 肝斑・雀卵斑・炎症後の色素沈着
  - 光線過敏性皮膚炎

### 【用法・用量】

アスコルビン酸として、通常成人1日50～2000mgを1～数回に分けて経口投与する。  
なお、年齢、症状により適宜増減する。

### 【使用上の注意】

- 副作用  
本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。  
胃腸：悪心・嘔吐、下痢等（頻度不明）があらわれることがある。
- 臨床検査結果に及ぼす影響
  - 各種の尿糖検査で、尿糖の検出を妨害することがある。
  - 各種の尿・便潜血反応検査で、偽陰性を呈することがある。

### 【薬効薬理】

- 毛細血管に対する作用  
毛細血管抵抗性を増強し、出血傾向を改善する。  
又血液凝固能の上昇をもたらす。
- 副腎皮質機能に対する作用  
アスコルビン酸は副腎皮質に多量に存在し、ステロイドホルモンの生合成促進又は異化抑制に関与する。

### 3. 結合組織に対する作用

生体内における細胞間基質とコラーゲンの形成・維持に必須のビタミンで、特に、コラーゲン中のプロリンからヒドロキシプロリンへの水酸化過程に関与し、アスコルビン酸の投与により、コラーゲンの増加がみられる。  
また骨形成を進行させる。

### 4. メラニン色素生成に対する作用

アスコルビン酸はチロシンからメラニン生成過程の中で、ドーパからドーパキノンへの酸化過程を阻害し、メラニン色素の生成を抑制する。

### 【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：アスコルビン酸（Ascorbic Acid）

化学名：L-threo-Hex-2-enono-1,4-lactone

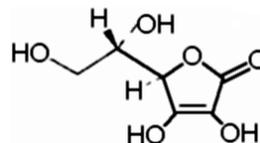
分子式：C<sub>6</sub>H<sub>8</sub>O<sub>6</sub>

分子量：176.12

融 点：約190℃（分解）

性 状：白色の結晶又は結晶性の粉末で、においはなく、酸味がある。  
水に溶けやすく、エタノール(95)にやや溶けにくく、ジエチルエーテルにほとんど溶けない。

構造式：



### 【取扱い上の注意】

配合変化：本品は還元性、キレート性が強いので配合変化を起こしやすく、その際、本品の効力は低下するので注意を要する。

### 【主要文献】

- L.S.Goodman&A.Gilman:The Pharmacological Basis of Therapeutics(4th.Ed),1665(1970)
- 富田 勲：薬局, 35(5), 27(1984)
- 朝田康夫：日本医事新報, 2306, 125(1968)
- 高木敬次郎他：薬物学, 594(1984)

### 【製品に関するお問い合わせ先】

日興製薬販売株式会社 製品情報窓口  
〒101-0035 東京都千代田区神田紺屋町3番地  
TEL. 03-3254-1831

発売元

日興製薬販売株式会社

東京都千代田区神田紺屋町32番地

製造販売元

日興製薬株式会社

岐阜県羽島市江吉良町1593